

報告事項イ

平成30年度「鳥取県・ジャマイカウエストモアランド県青少年交流事業」について

平成30年度「鳥取県・ジャマイカウエストモアランド県青少年交流事業」について、別紙のとおり報告します。

平成30年12月20日

鳥取県教育委員会教育長 山 本 仁 志

平成 30 年度「鳥取県・ジャマイカウェストモアランド県青少年交流事業」について

平成 30 年 12 月 20 日
高等学校課

オリンピックホストタウン推進事業の一環として、本県と姉妹提携をしているジャマイカ・ウェストモアランド県へ本県の高校生を派遣し、現地の高校生や地域住民との交流活動をとおして、国際性豊かな青少年の育成を図りました。

1 交流事業概要

(1) 派遣者

鳥取湖陵高校 1 年生 5 名（家庭クラブ部員），米子高校 2 年生 5 名（ダンス部員） 他引率

(2) 派遣期間

平成 30 年 10 月 11 日（木）～22 日（月）

(3) 主な交流内容

ウェストモアランド県の高校を訪問し、同校生徒との料理，ダンス，グラウンドゴルフを通じた交流を行ったほか，ホームステイを行った。

ア 現地慈善教育団体（「NEET」）主催の児童住民との交流行事

イ ジャマイカの国民の休日「ヒーローズ・デイ」記念式典でのダンス披露

ウ ウェストモアランド県内 2 つの高校を訪問し，日本文化や鳥取県について英語で紹介する他，料理ならびにダンスを通じて同校高校生と交流

エ ホームステイ体験

2 交流内容

(1) 料理交流（鳥取湖陵高校の生徒を中心に）

- ・ジャマイカ人は鶏肉を好むことをふまえ，日本風のから揚げにジャマイカの伝統料理である「ジャークチキン」の調味料で下味をつけ，両国の味覚のコラボレーションを意味する「Jam-Jap Chicken（ジャム・ジャップ・チキン）」と銘打ったメニューを，ジャマイカ人高校生と一緒に調理。
- ・味付けに必要な醤油は，鳥取湖陵高校生産品を持参して利用。ジャマイカの伝統料理も並行して調理。
- ・鳥取県の高校生とジャマイカ人高校生徒とが昼食を共にし，親睦を深めた。日本風のから揚げも，Jam-Jap Chicken も，ジャマイカ人高校生及び現地高校の先生方に大変好評。

(2) ダンス交流（米子高校の生徒を中心に）

- ・レゲエ等，リズムカルな音楽に合わせて体全体を使った踊りを好むジャマイカ人氣質を考慮し，日本の高校生に人気があり，アップテンポな音楽に合わせた日本のダンス 2 種類を，日本の制服姿で披露（大塚製薬「ポカリスエット」TV コマーシャルでのダンス，YMCA）
- ・披露したのは，ウェストモアランド県旧庁舎前で開催された「ヒーローズ・デイ」記念式典，リトルロンドン高校での生徒交流会，ウェストモアランド県主催送別会，在ジャマイカ日本大使公邸レセプションの計 4 回。
- ・リトルロンドン高校では，鳥取の高校生 5 人が見事に踊る様子にジャマイカ人生徒が大歓声を上げ，大音量で流された音楽がかき消されてしまうほどの盛況ぶり。ダンス披露後，数名のジャマイカ人高校生が飛び込みでジャマイカのダンスを披露。声援を送るジャマイカ人高校生に促され，鳥取湖陵高校の生徒も一緒にダンス交流。

3 成果

- ・直接的な異文化体験をとおして、生徒の物事の考え方が大きく変容した。米子高校では、はるかに成長して帰国した生徒5名の事業参加報告に感動し、涙を流した職員もいたとのこと。
- ・風土、人種、言語、生活習慣、インフラ整備状況等、日本とは大きく異なる国情を目の当たりにしたことがかえって、ジャマイカでの一つひとつの体験を生徒が客観視することにつながり、生徒は、それまで当たり前と思っていたことが、実は日本の美德であり特徴であることも実感できた様子。
- ・使える英語を習得したいという、英語に対する強い学習動機が多くの子に生じた。
- ・ジャマイカの人達のオープンなマインドと優しさに触れ、生徒に利他の心が醸成された。料理、ダンス等、自分達の得意分野をきっかけに交流を重ねたことで、「自分の持ち味や特徴は、どのように世の役に立てられるのか」といった観点から、自分の今後のあり方を考えていこうという気概にあふれる生徒が増えた。

【生徒の主なコメント】

- ・やりたいことは勇気を振り絞って挑戦してみることで、それまで見たことのない景色が見えると気づいた。
- ・学んだ多くのことをこれから生かし、周りの人に影響を与えられる人間になりたい。
- ・英語を頑張って勉強し、またジャマイカに行きたい。そして、触れ合ったジャマイカの生徒達ともっと仲よくなりたい。

4 帰国報告会

交流推進課及び県国際交流財団との共催で、今回の青少年交流の成果を県民に広く知ってもらうことを目的とした報告会を開催する。

- (1) 日 時 平成30年12月16日(日)
- (2) 会 場 エキパル倉吉多目的ホール(倉吉市上井195 JR倉吉駅構内)
- (3) 内 容 県交流事業姉妹提携先への派遣生徒(ジャマイカ・ウェストモアランド県、米国・バーモント州)による、帰国報告プレゼンテーションやパネルディスカッションなど



▲料理交流(リトルロンドン高)



▲日本風のから揚げ(左) Jam-Jap Chicken(右)



▲ダンス交流(リトルロンドン高)



▲NEETでの児童・住民交流会



▲ヒーローズ・デいのダンス披露
(ウェストモアランド県旧庁舎前)



▲在ジャマイカ大使公邸レセプション
(中央が山崎大使)



私を みんなを 変える旅



Westmoreland & Vermont



鳥取県青少年海外交流事業派遣者報告会

12月16日
(日)

14:00～17:00
(開場13時40分)

★ 鳥取県事業でジャマイカ、アメリカに訪問した高校生が現地での体験を報告します。

★ ジャマイカ、米国出身ALTを交え楽しいパネルディスカッション

★ 交流の写真や関連グッズも展示。とっておきの〇〇も…。

会場／エキパル倉吉多目的ホール

倉吉市上井195 JR倉吉駅構内（倉吉駅南口駐車場無料処理できます）

【お問い合わせ先】
鳥取県交流推進課
☎0857-26-7595



**入場
無料**

■派遣事業概要

□ジャマイカ・ウェストモアランド県（10/11～22）

平成28年3月に締結したジャマイカ・ウェストモアランド県と鳥取県との姉妹提携に基づいた交流の一環として、本県の高校生10名を派遣。派遣生徒が得意とするダンスや料理などを通じ現地高校生との交流を行いました。

□米国・バーモント州（10/12～10/23）

県内から選抜した高校生15名を本県の友好交流先である米国バーモント州に派遣。青少年同士の交流や環境保全の取組みの学習を通じて、国際的視野を育み、持続可能な社会づくりを学ぶプログラムです。